



LEITR のご紹介

アイバンク、外科手術のトレーニング、
研究開発などのサービスを継続的に拡大中



1973年の設立以来の取り組みと
パートナーシップにより、
世界中で15万人の成人や小児に
視力を贈り続けています。

総合的な角膜サービス

ミクロン単位の精密加工

DMEK 10～15ミクロンに切断

DSAEK ご要望の仕様に合わせて精密加工

- 極薄 40～100ミクロン
- 従来の100マイクロン以上

ALK/DALK (厚みカスタム化)

PRE-CUT PKP (フルサイズの厚み)

仕様のカスタマイズ

プリロード型の DMEK および DSAEK

- プリカット、プリステイン、プリマーキング、プリパンチ、プリロード**

非プリロード DMEK、DSAEK

- プリカット、プリステイン、プリマーキング、プリパンチ ***

プリマーキング細胞の方向マークのオプション

- 「S」スタンプ
- 「I II」周辺マーク
- カスタムマーキング

*+/- DSAEKは ±20 ミクロンDMEK および DMEKは組織構造により厚さが異なります。

***1種類、またはオプションの組み合わせで選び頂けます。

***非プリロード DSAEKはプリパンチングされていません。



Lions Eye Institute for Transplant and Research (LEITR)

は、アイバンクと眼科研究センターを統合した米国最大の機関です。非営利組織として角膜移植を容易にし、

臨床成果を向上させるために、手術の提携先と革新を進め協力しています。

LEITRの使命

眼組織の回収、評価、準備、研究、外科医のトレーニング、革新的な技術を通じて、組織提供から移植までの橋渡しを行います。LEITR の使命は、視力回復と生活の質の向上のために、アイバンクの新しい基準を確立することです。

豊富な実績、強固な基盤

Lions Eye Institute for Transplant and Research (LEITR) は米国フロリダ州タンパのライオンズクラブの出資により、1973年に設立されました。

長年にわたり最先端の角膜組織処理と角膜移植の研究、開発、教育を行っています。しかし、ルーツそれより昔にさかのぼります。

1925年6月30日、米国オハイオ州シーダーポイントでのライオンズクラブ国際大会で、ヘレンケラーが行った講演でした。ヘレンケラーがその歴史的なスピーチで「暗闇と戦う盲人の騎士」となるように呼びかけたことがライオンズクラブの使命となりました。LEITR はその呼びかけに応え続けて、外科技術を進歩させ、外科医向けのサービスを提供し、新しく効果的な手術を取り入れる支援をしています。

アイバンクのサービス

LEITRは米国アイバンク協会の公認会員として、最高品質の移植用組織の準備と提供に尽力しています。新しい基準を設定し、業界トップのインベーションとサービスを提供します。包括的な組織関係のサービスには、組織の回収、評価、全層角膜移植および内皮移植用の生体細胞組織の準備、DMEK および DSAEK 用の TransplantREADY™ プリロードサービスがあります。さらに、OptiGraft は緑内障や表層角膜移植、人工角膜移植などに使用できる無菌のプレミアム・アログラフトです。

研究・臨床開発

眼科医との長年の協力により、組織準備と角膜内皮移植の多くの画期的なイノベーションをもたらし、毎年何千人もの視力と生活の質の向上につながっています。LEITR の研究により、以下を含む多くの革新的な組織準備や技術を開発してきました。

- プリロード DSAEK in EndoGlide* – 2012
- 非接触 DMEK ハイドロダイセクション技術 ** – 2012
- ナノカット DSAEK グラフト 40–60 ミクロン** – 2014
- DMEK in Straiko modified Jones Tube – 2015
- DMEK in 2.0mm modified Jones Tube** – 2017
- DMEK in EndoGlide – 2019
- DSAEK in 3.0mm modified Jones Tube** – 2020
- プリカット PKP** – 2021

*Cornea 36巻1号(2017年1月)に掲載

**主要な眼科学会で発表されたアブストラクト

ジョーンズチューブは、FDAの上市前審査が免除されるクラスⅠの汎用眼科手術器具として、Gunther Weiss 社がFDAに登録しています。ジョーンズチューブの DSAEK や DMEK での使用は、FDA には認可されていません



One World Sight Alliance (OWSA) 創設メンバー

眼科外科医およびアイバンク会員向けのオンライン組織管理ポータルサイト

One World Sight Alliance は強力なオンラインのコミュニケーションセンターです。米国内の25のアイバンクメンバー間の連携を支援し、米国や世界中の眼組織に関するリクエストに対応します。OWSA に登録すると、外科医は組織管理の全ての側面にアクセスできる個人アカウントを持ち、角膜組織のあらゆる供給元から患者のニーズに合わせて提供を受けることができます。このポータルを使うと、簡単に希望の組織、リクエスト、承認、術後の報告などの管理ができます。OWSA を通じて、アイバンクと外科医は連携し、提供された視力という贈り物を最大限に尊重できるように組織を届けます。



組織の評価から非常に
精密な処理まで、
専門の訓練と認定を受けた
アイバンクの技術者が
PKP, ALK, DALK, DSAEK, DMEK
などの移植用に日々組織を準備
しています。
年間3,500点以上、1週間
あたり70個近くの角膜が
内皮角膜移植術用に準備
されています。

ライオンズ・アイ・インスティテュートの眼科研究センター

重要な研究依頼への対応

眼科研究チームの目標は、眼科疾患の困難な課題や新しい治療法に関する要望に応えることです。研究用に回収された眼球組織を用いて、新薬や治療法の試験を行い、失明の恐れのある眼科疾患を阻止し治療するために、たゆまぬ努力を続けています。

このチームは業界や主要な研究機関と協力し、他にはない品質と量の眼球組織を提供する新しい前臨床研究モデルを開発しています。医薬品や医療機器の研究用の独自の研究施設を持ち、健康な眼球組織や病気の眼球組織をリアルタイムで研究できる専用の実験スペースと装置があります。この唯一無二の施設は、時間的制約のある厳しい研究パラメータに対応できる柔軟性とリソースを備えています。



ライオンズ・アイ・インスティテュート財団

ライオンズ・アイ・インスティテュート財団から、保険である視力回復のためのプログラム提供を支援する資金が調達されています。

眼球組織の無償提供プログラム

「眼球組織無償提供プログラム」

では外科医と提携して

保険や経済的な余裕のない患者さんに視力回復手術を提供します。ライオンズ・アイ・インスティテュート財団は、毎年開催されるアイボール・ガーラというイベントで集められた資金により、このプログラムを支援しています。昨年は、米国などの15カ国で214人の方が視力のプレゼントを受け取りました。



外科トレーニングプログラム

LEITR は世界中の外科医の育成にも力を入れており、米国、メキシコ、サウジアラビア、中央アジア、南米、南アフリカの眼科医を対象に、高度な手術の技術トレーニングコースを開催しています。講師には角膜移植のエキスパートや、国際的に著名な角膜の専門家も含まれます。トレーニングは、リモートのウェットラボ、オンサイトまたはオフサイトの数日間のコースなどがあります。外科医が最新の外科技術を習得し、すぐに使えるスキルでよりよい視覚のアウトカムを患者にもたらすことを目的としています。



新しい外科医の
トレーニングセンターは
タンパの外科医の
受け入れや
世界中の外科医と
ライブストリーミングを
行うための
専用スペースと
最新機器が
完備されています



本社建物の歴史

1800年代後半から1900年代前半にかけて、「世界の葉巻の街」として知られるタンパのイーバーシティには、何百もの大きなレンガ造りの葉巻工場が建設されました。ライオンズ・アイ・インスティテュート・フォー・トランスプラント・アンド・リサーチは、現存する数少ない葉巻工場の建物一つである F. ロザーノ工場の建物を、最先端のアイバンクと研究部門の本部にしています。LEITR は 保存用の助成金により、この歴史的な地域資産を修復しています。

イーバーシティの重要な歴史的建造物の中にある専用外科トレーニング施設を訪問して、施設見学や、実地トレーニングを体験してください。



私たちは、提供された貴重な組織の管理者として、提供者とその家族への深い敬意を持って、日々奉仕することを光榮に思っております。

